

令和 6 年医師の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

【負担軽減及び処遇改善に対する責任者】

処遇改善

院 長 : 橋 秀昭

年間休日数の増加 115 日(+5 日)

部 長 : 吉田 俊太郎

医師事務作業補助者の増員

【負担軽減及び処遇改善推進の委員会】

院内安全衛生委員会

1 回/月開催

項目		令和 6 年度 of 取組内容	目標達成年次
多職種との 業務分担	看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示に基づき静脈採血等の実施 ・入院の説明の実施 ・検査手順の説明を実施 	
	薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> ・患者への服薬指導 	
	放射線技師 臨床検査技師	<ul style="list-style-type: none"> ・検査手順の説明の実施 	
	事務職員	<ul style="list-style-type: none"> ・医師事務作業補助者を増員し、病院情報システム代行入力等のさらなる充実を図る 	
医師の勤務体制に係る 取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・医局員の増員(腎臓内科、救急医) ・複数主治医体制の導入 ・勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施 ・前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の 休息時間の確保 ・当直翌日の業務内容に対する配慮 ・育児・介護休業法第 23 条第 1 項、同条第 3 項又は 同法第 24 条の規定による措置を活用した短時間正規 雇用医師の活用 	

令和5年医師の負担の軽減及び処遇改善に資する計画

【負担軽減及び処遇改善に対する責任者】

院長：橘 秀昭

副院長：吉田 俊太郎

【負担軽減及び処遇改善推進の委員会】

院内安全衛生委員会 1回/月開催

項目		令和5年度の実施内容	目標達成年次
多職種との 業務分担	看護師	・医師の指示に基づき静脈採血等の実施 ・検査手順の説明を実施	・目標達成 次年度も継続
	薬剤師	・患者への服薬指導	・目標達成 次年度も継続
	放射線技師 臨床検査技師	・検査手順の説明の実施	・目標達成 次年度も継続
	事務職員	・医師事務作業補助者を増員し、病院情報システム代行 入力等のさらなる充実を図る	・次年度に1名内定 さらなる増員を目指す
医師の勤務体制に係る 取り組み		・勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施 ・前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の 休息時間の確保 ・当直翌日の業務内容に対する配慮 ・育児・介護休業法第23条第1項、同条第3項又は 同法第24条の規定による措置を活用した短時間正規 雇用医師の活用	・目標達成 次年度も継続

令和5年総括

立案された計画は具体的に実践されていた。医師事務作業補助者の増員では令和6年度に新卒入職者1名が決定し、教育を通じてさらなる医師の業務負担軽減へとつなげてゆく。令和4年度には医師の働き方改革として宿日直許可申請を提出し受理されている。